

白馬村 ごみ・リサイクル物の分け方・出し方早見表

地区集積場・小規模ステーション

曜日	分別品目	出し方	具体例	注意
※ 月 水 金	燃えるごみ	・北アルプス広域連合指定「もえるごみ専用袋」に入れる (事業系は不可)	生ごみ、貝殻、ビデオテープ、木くず、使い捨てライター、靴、ゴム製品、発泡スチロール、革製品、CD、DVD、リサイクル不可能な紙・プラスチック・布類 など	・生ごみは十分水切りをする ・枝などは長さ50cm、太さ5cm以内のもの(長いものは50cm以下に切る。) ・使い捨てライターは、火の気のない通気性の高い場所でガスを抜く。 ※小規模ステーションは水曜日の燃えるごみ回収がありません。ご注意ください。
月	金属ごみ	・北アルプス広域連合指定「金属類専用袋」に入れる	マークの付いているもの 鍋、やかん、アルミ箔、くぎ、カミソリの刃など	・空き缶は中を軽く水洗いする。 ・ボンベは穴を開けずに、ガス抜きキャップなどで完全にガスを抜いてください。 ・釘や針などの危険なものは缶などに入れ「キケン」と表示して出す。
火	紙製容器包装	透明なビニール袋に入れる	マークの付いているもの お菓子・食品などの外箱、紙袋、ティッシュの箱、包装紙	・紙以外の素材は取り除く。 ・汚れが落ちないものや臭いがとれないもの、紙以外の素材でコーティング加工されているもの(紙コップなど)は「燃えるごみ」で出す。
	新聞 チラシ	ひもで十字にしぼる(ビニールひも可)	新聞紙、折込チラシ	・新聞紙と折込チラシは一緒に縛ってOK!
	段ボール	ひもで十字にしぼる(ビニールひも可)	マークの付いているもの 断面が波状になっているもの	・折りたたんで大きさをそろえる。
	雑誌 雑紙	ひもで十字にしぼる(ビニールひも可)	【雑誌】本、ノート、週刊誌、カタログなど 【雑がみ】コピー用紙、封筒、パンフレットなど	・紙以外の素材、特殊加工された紙は取り除く。 ・雑誌と雑がみは一緒に縛ってOK!
	紙パック	ひもでしぼる(ビニールひも可)	マークの付いているもの 飲料用で、内側が白いもの	・中を水で洗い、広げて乾かす。 ・プラスチック製の注ぎ口・キャップは取り外す。
木	ガラスびん	透明なビニール袋に入れる(色ごとに分けて出す)	「ガラスくず・陶磁器くず」で出すと、リサイクルされません! 無色(透明)/茶色/その他の色	・キャップやアルミカバーを外す(ラベルはそのままでOK) ・色ごと(無色/茶色/その他の色)に分ける。 ・中を水で洗い流す。 ・ <u>汚れが落ちないもの</u> や乳白色ビンは「ガラス・陶磁器くず」で出す。
	プラスチック製 容器包装	透明なビニール袋に入れる	マークの付いているもの お菓子・食品などの袋類、レジ袋、色付きトレイ、プチプチ、ペットボトルのキャップやラベルなど	・ <u>汚れが落ちないもの</u> 、臭いがとれないものは「燃えるごみ」で出す。 ・発泡スチロールは「燃えるごみ」で出す。
	ペットボトル	透明なビニール袋に入れる	マークの付いているもの PET 飲料、酒類、ドレッシングなどのペットボトル	・キャップとラベルは「プラスチック製容器包装」へ。 ・中を水で洗い乾かす。 ・リングはそのままでOK!
	白色トレイ	透明なビニール袋に入れる	全面が白いものに限る 生鮮食品、果物、惣菜、菓子のトレイ	・水で洗い乾かす。
	アルミ缶	透明なビニール袋に入れる	マークの付いているもの アルミ 缶ビール、缶コーヒー、飲料などのアルミ缶	・中を水で洗い乾かす。
	衣類 布類	透明なビニール袋に入れる	洗濯をしてきれいなものに限る スーツ、ズボン、Yシャツ、タオル、毛布、敷布	・洗濯をする。 ・ボタン、ファスナーなどは外さない。 ・破れたもの、汚れがとれないものは「燃えるごみ」で出す。
金	ガラスくず 陶磁器くず	透明なビニール袋に入れる	ガラス食器、陶磁器、花瓶、白熱電球など	・蛍光灯、電球型蛍光灯、水銀式温度計、水銀式体温計は有害ごみですので入れないでください。 ・割れていないガラスびんはリサイクル物として出すこと。

【注意事項】 ●粗大ごみを絶対に出さないでください。
●出す曜日・時間を厳守してください。 収集日前日の午後6時～当日の午前8時までに搬入してください。
●指定ごみ袋の記入欄に地区と氏名(フルネーム)を必ず記入してください。記入の無い袋は収集しません。

生ごみ処理機の購入費用補助金

白馬村ではごみ減量のために生ごみ処理機等の購入費用に対し補助金を交付しています。

- ①木枠のコンポスト、プラスチック製の生ごみたい肥化容器 ②電気式生ごみ処理機 ③ディスポーザの購入設置費用
【補助率】 3分の2以内 【補助金上限額】 40,000円

たい肥化した生ごみは家庭菜園や畑だけでなく、ガーデニングなどの園芸にも活用できます。たい肥化しても活用出来ないという場合は、乾燥式の処理機もあります。乾燥式は生ごみが約7分の1から10分の1まで減量出来るため、燃えるごみを減らすことが出来ます。この機会にぜひ、生ごみの減量化に挑戦してみてください。

